

# 第3四半期(累計) 決算説明資料 (2015年6月期)

2015年5月14日  
株式会社 アルバック

## ◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q(累計)：第3四半期連結累計期間

3Q : 第3四半期連結会計期間

## 2015/6期3Q(累計)実績



## 2015/6期3Q(累計)業績

売上高 : 前年同期比3.6%減少。但し、通期予想に対する進捗は概ね想定通り(通期予想比74%の進捗率)。

営業利益: 前年同期比では32.9%減少。但し、当初の通期予想に対する進捗は、製造コスト削減効果等もあり  
利益率の低下が小幅にとどまったことから、想定比高めで推移 (今回通期予想を上方修正、P10参照)。

経常利益・当期純利益: 為替差益、材料部門の在庫売却益等営業外収益が、想定を上回ったこと等も加わり、  
当初の通期予想に対する進捗は想定比高め (今回通期予想を上方修正、P10参照)。

【単位: 億円】

	(参考) 2014/6期実績	2015/6期			2015/6期 今回 修正予想※2
	3Q(累計)	当初 通期予想※1	3Q(累計) 実績	前年 同期比 (増減率)	
受注高	1,257	1,700	1,238	-1.5%	1,760
売上高	1,339	1,750	1,291	-3.6%	1,750
営業利益	112	90	75	-32.9%	95
率	8.4%	5.1%	5.8%		5.4%
経常利益	123	85	87	-29.5%	105
率	9.2%	4.9%	6.7%		6.0%
当期純利益	97	65	62	-36.7%	70
率	7.3%	3.7%	4.8%		4.0%

※1 2014年8月公表値

※2 2015年5月14日公表値

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

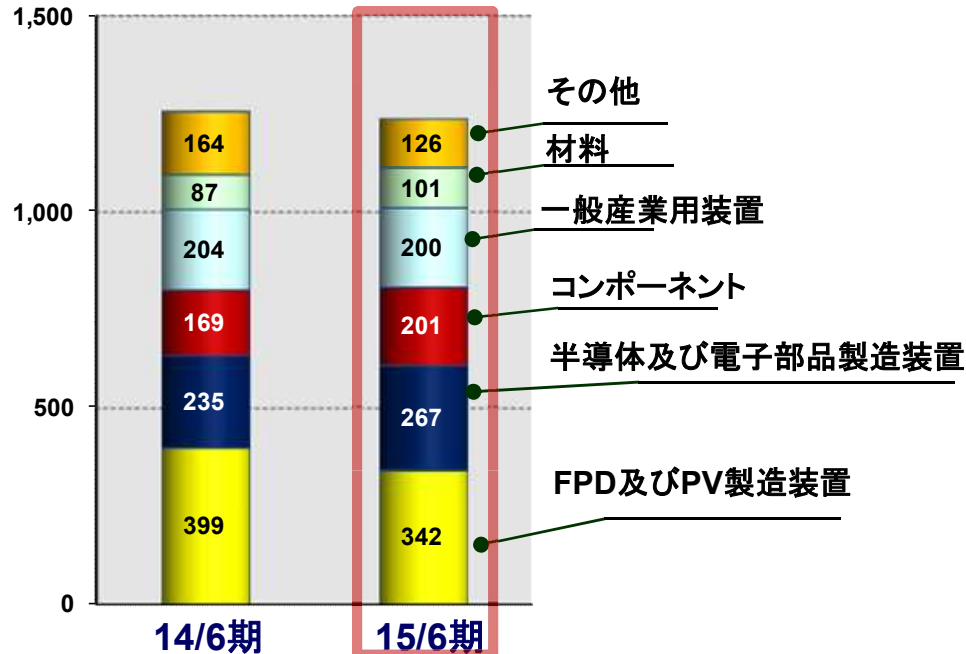
売上高と営業利益の推移(四半期毎)



## 品目別受注高の実績

【単位:億円】 3Q(累計)

モバイル機器向けメモリや高機能電子デバイス向けの投資が好調に推移し、半導体・電子部品製造装置、コンポーネント等が前年同期比増加。  
 FPD・PV製造装置の受注は、四半期ごとに回復しているが、前年同期比では減少(3Q単独では、前年同期比増加に転じた)。  
 全体としては概ね想定通りの実績。



【単位:億円】

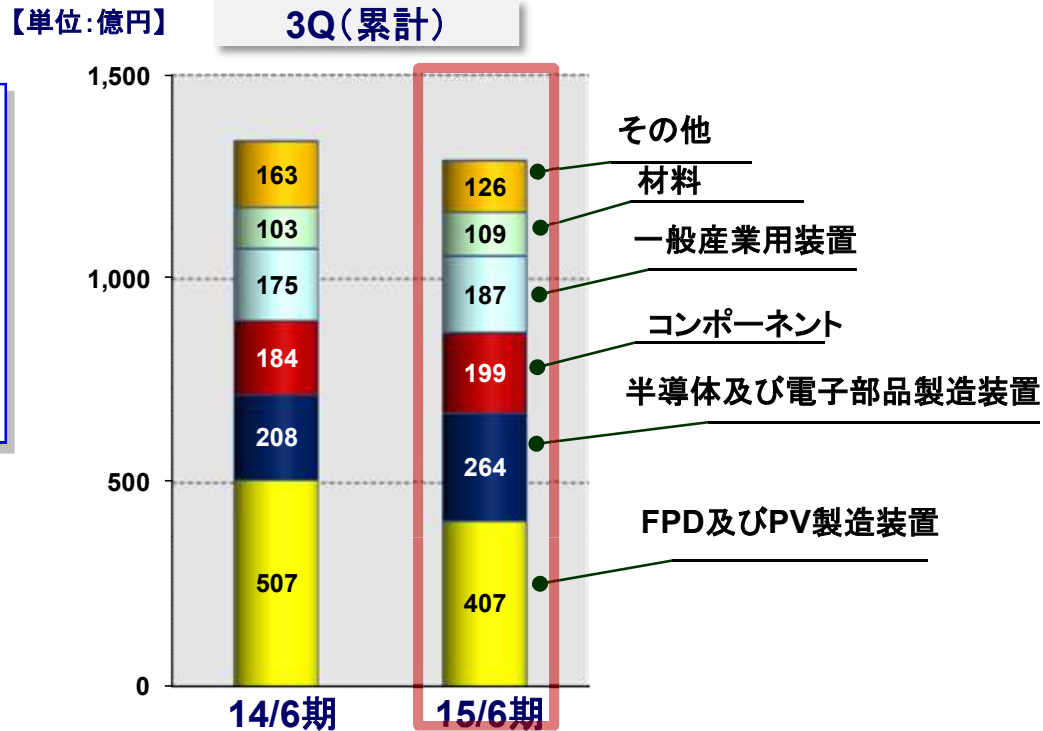
14/6期 3Q		
セグメント・品目	受注高	構成比
真空機器事業	1,007	80%
FPD及びPV製造装置	399	32%
半導体及び電子部品製造装置	235	19%
コンポーネント	169	13%
一般産業用装置	204	16%
真空応用事業	251	20%
材料	87	7%
その他	164	13%
<b>合計</b>	<b>1,257</b>	<b>100%</b>

15/6期 3Q			前年同期比 (増減率)
セグメント・品目	受注高	構成比	
真空機器事業	1,010	82%	0%
FPD及びPV製造装置	342	28%	-14%
半導体及び電子部品製造装置	267	22%	13%
コンポーネント	201	16%	19%
一般産業用装置	200	16%	-2%
真空応用事業	228	18%	-9%
材料	101	8%	16%
その他	126	10%	-23%
<b>合計</b>	<b>1,238</b>	<b>100%</b>	<b>-2%</b>

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 品目別売上高の実績

半導体・電子部品製造装置、コンポーネント、一般産業用装置等引き続き好調で、前年同期比増加。  
 FPD・PV製造装置は、今年度1Qの一時的な受注低迷の影響により、前年同期比減少。  
 全体としては概ね想定通りの実績。



【単位:億円】

14/6期 3Q		
セグメント・品目	売上高	構成比
真空機器事業	1,073	80%
FPD及びPV製造装置	507	38%
半導体及び電子部品製造装置	208	16%
コンポーネント	184	14%
一般産業用装置	175	13%
真空応用事業	266	20%
材料	103	8%
その他	163	12%
<b>合計</b>	<b>1,339</b>	<b>100%</b>

15/6期 3Q			前年同期比 (増減率)
セグメント・品目	売上高	構成比	
真空機器事業	1,056	82%	-2%
FPD及びPV製造装置	407	32%	-20%
半導体及び電子部品製造装置	264	20%	27%
コンポーネント	199	15%	8%
一般産業用装置	187	14%	7%
真空応用事業	235	18%	-12%
材料	109	8%	5%
その他	126	10%	-22%
<b>合計</b>	<b>1,291</b>	<b>100%</b>	<b>-4%</b>

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

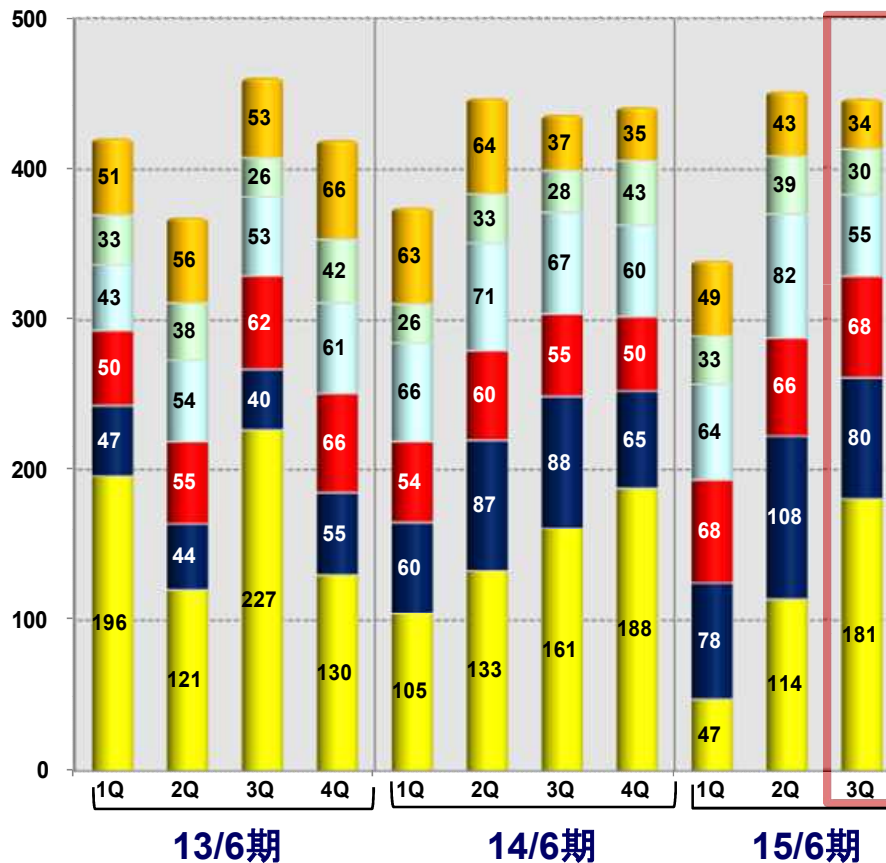
# 品目別受注高・売上高(四半期)の推移

3Qに入り、FPD・PV製造装置の受注は、中小型液晶向けを中心に回復。

- FPD及びPV製造装置
- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- 材料
- その他

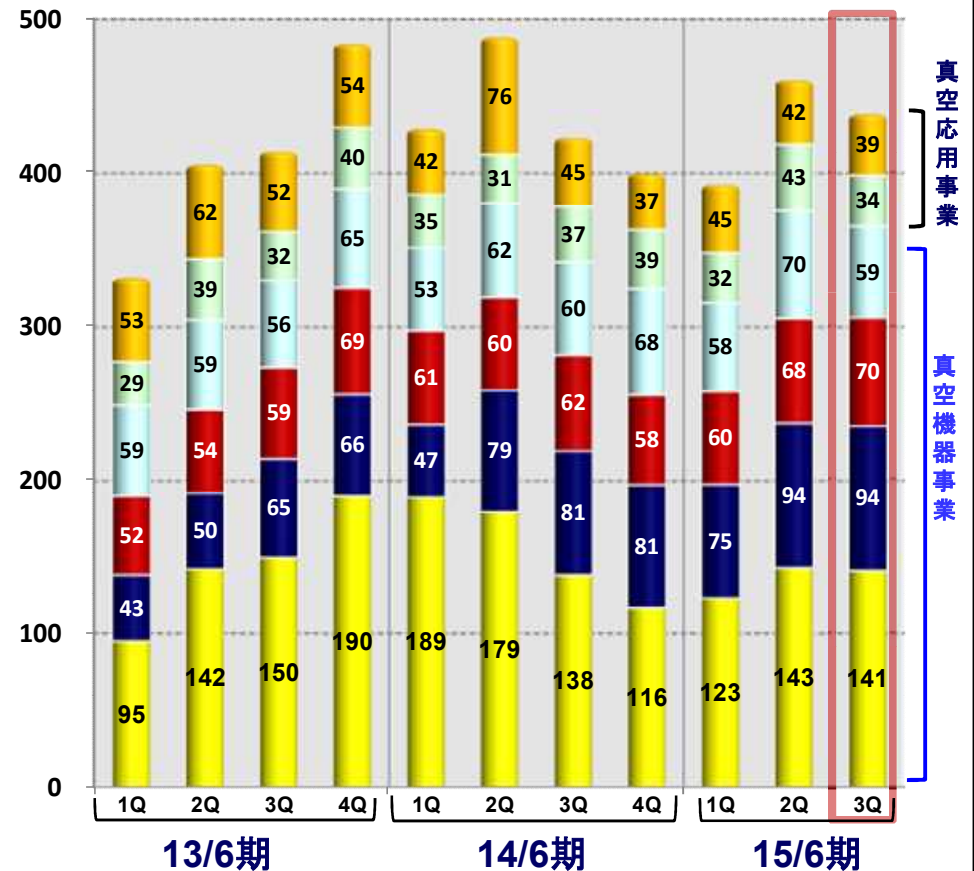
受注高

【単位:億円】



売上高

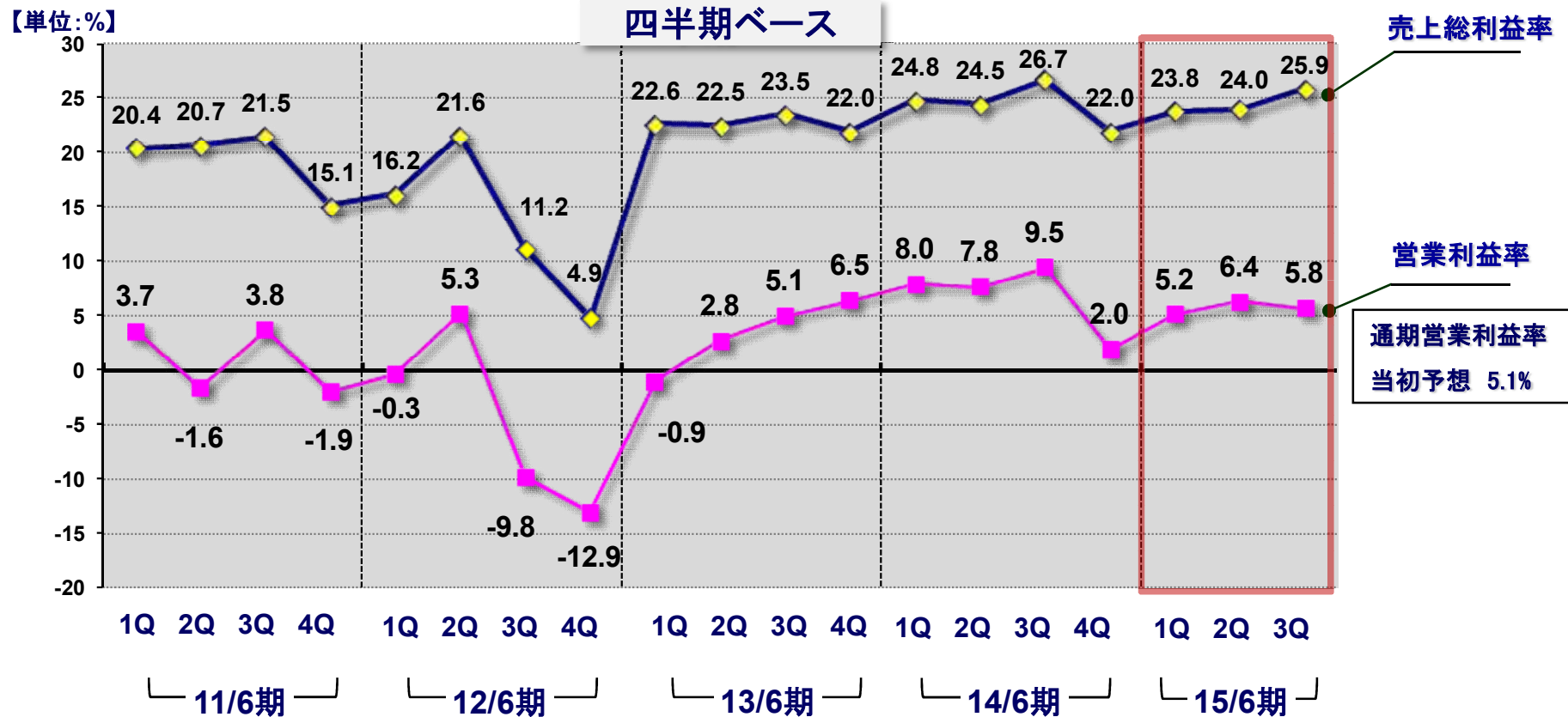
【単位:億円】



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 利益率(四半期)の推移

今年度は、前年度(14/6期)に利益率の高い案件のタイミングが重なったことの反動、中国を中心とした厳しい競争環境等を見込んで営業利益率の低下を予想したが、製造コスト削減効果等もあり、これらの影響が想定比小幅にとどまっている。

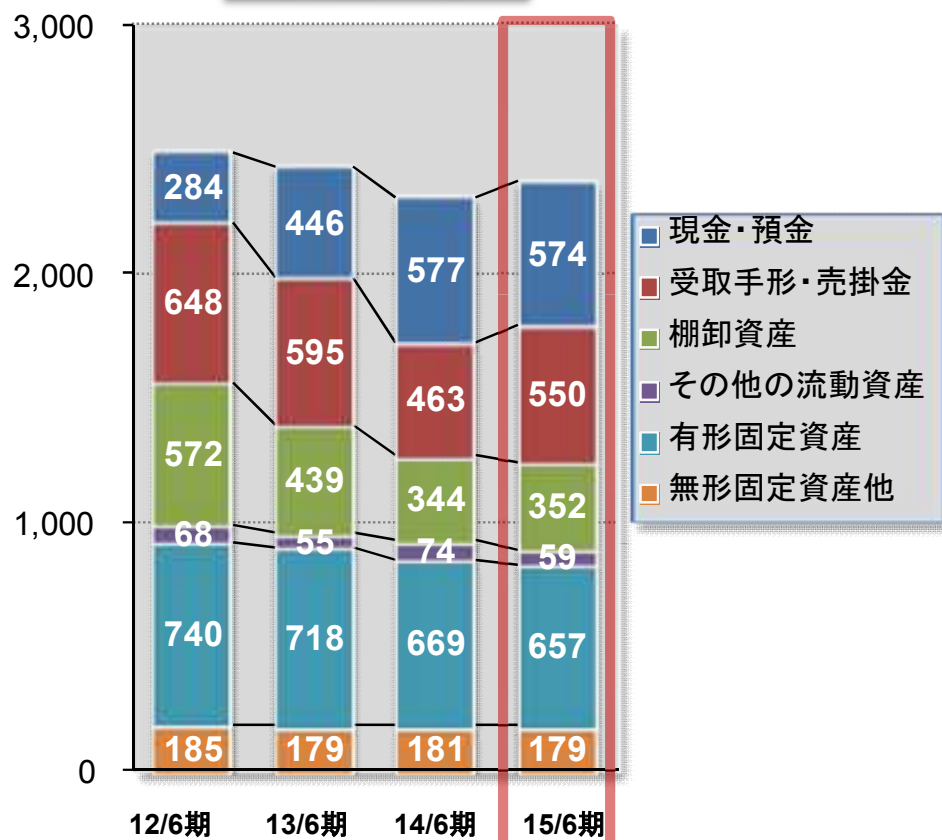


【小数点以下第2位は四捨五入】

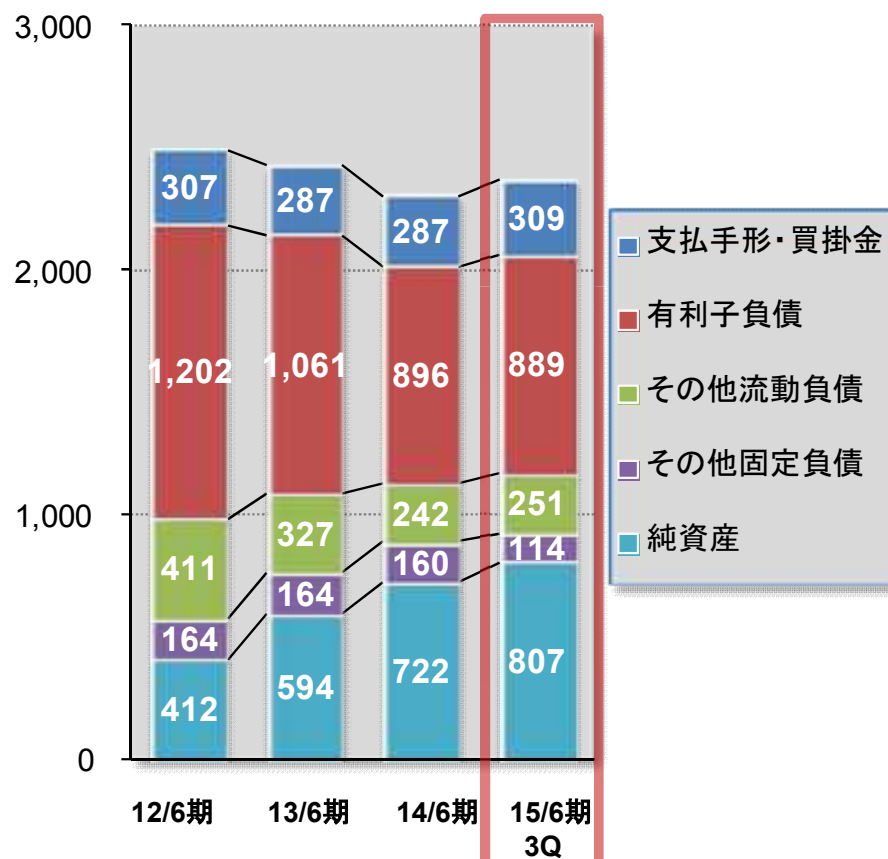
## 連結貸借対照表

足元の売上高増加等により、受取手形・売掛金、棚卸資産、支払手形・買掛金が増加。  
純資産は85億円増加。

【単位:億円】 資産の部



負債・純資産の部



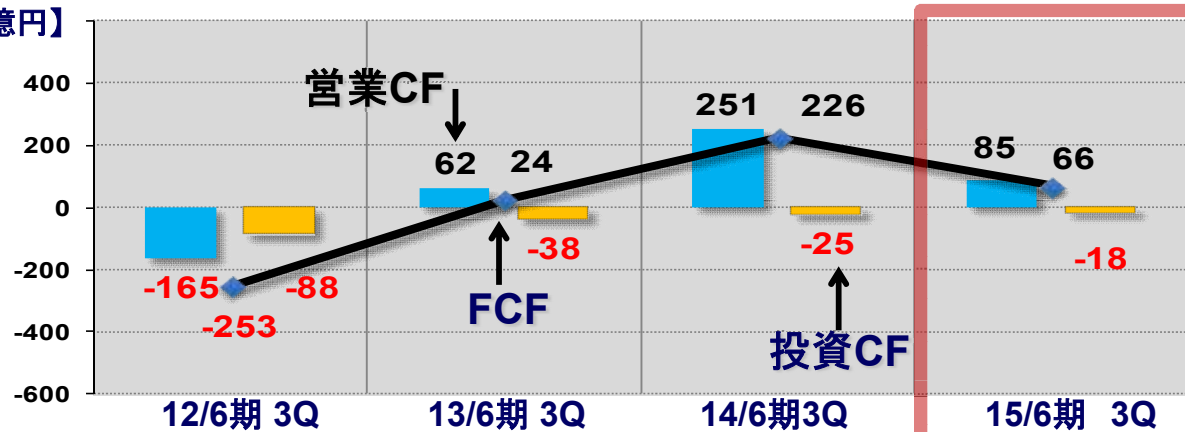
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】



## キャッシュ・フローと有利子負債の実績

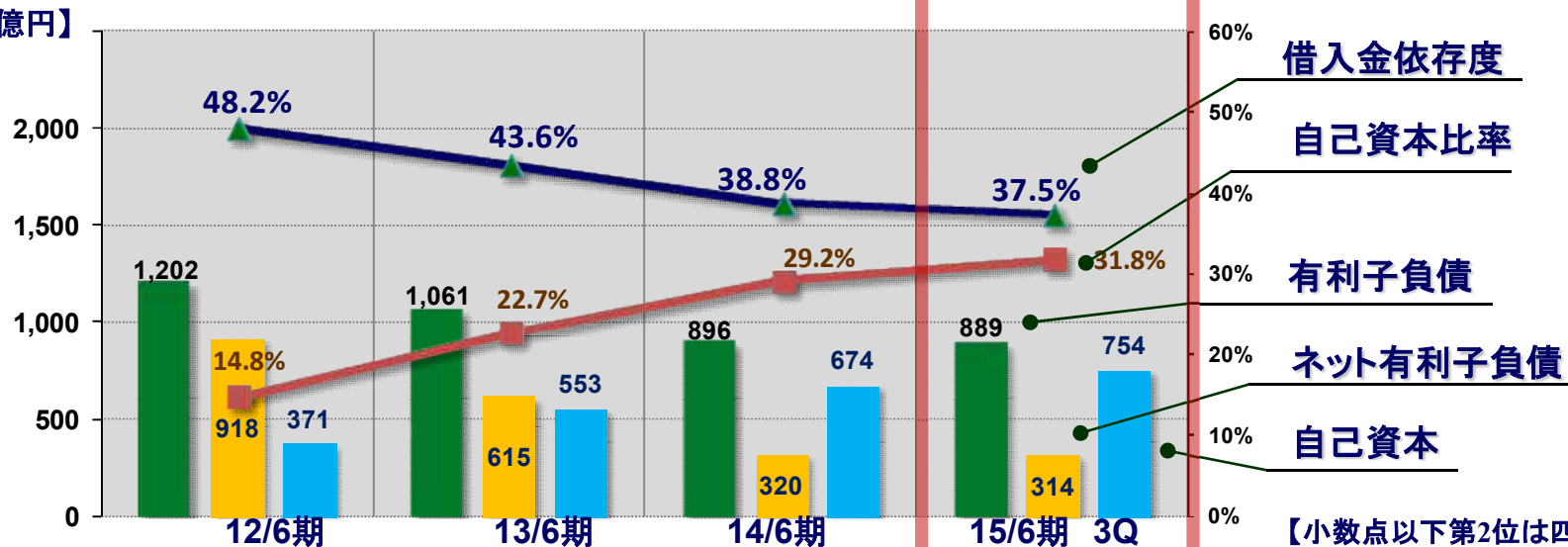
自己資本比率は31.8%にまで改善。営業CF、FCFは若干のプラス。  
 なお2QにA種種類株式の一部償還(元本50億円)を実施済。

【単位:億円】



キャッシュ・フローのグラフは各期第3四半期時点の数値

【単位:億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】

## 2015/6期業績予想

受注高 :4Qにむけて、FPD・PV製造装置の受注増が見込めるため、1,760億円に修正(前回予想比60億円増)。

営業利益:今後年度末に向けて一部海外子会社における関税等追徴の可能性(一過性のもの)を考慮しつつも、利益率が想定比高めで推移していること等から95億円(前回予想比5億円増)に修正。

経常利益、当期利益:

このことに加え為替差益、材料部門の在庫売却益等営業外収益が3Qまでの累計で想定を上回っていること等から経常利益は105億円(前回予想比20億円増)に、当期利益は70億円(前回予想比5億円増)にそれぞれ修正。

【単位:億円】

	2015/6期		
	3Q累計 実績	通期	
		当初予想	修正予想
受注高	1,238	1,700	1,760
売上高	1,291	1,750	1,750
営業利益	75	90	95
率	5.8%	5.1%	5.4%
経常利益	87	85	105
率	6.7%	4.9%	6.0%
当期純利益	62	65	70
率	4.8%	3.7%	4.0%

【( )内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

## 種類株式の償還について

### ・A種種類株式の推移

2012年9月	発行(150億円)
2014年11月	現金償還 元本 50億円 (残高 100億円)
2015年7月(今回)	現金償還 元本100億円 (残高 0)

- ・連結自己資本の増加(自己資本比率の上昇)、フリーキャッシュフローの累積(ネットD/Eレシオの改善)等、財務体質は相応に改善(発行時想定を上回る水準)。  
⇒ 残存する100億円につき、全額現金での償還を決定。

### 【ご参考】(注1)

	2012/6期 (発行前)	発行時想定 2015/6期 (償還後)(注2)	2015/6期 見込	今回 償還後 (注3)
自己資本比率	14.8%	22.1%	32.6%	29.0%
ネットD/Eレシオ	2.48倍	0.74倍	0.43倍	0.69倍
		発行時想定(注2)	2015/6期見込	
フリーキャッシュフロー ('13/6期から'15/6期までの累計)		299億円	532億円	

(注1)いずれも連結ベース

(注2) 2012年6月期 決算説明会資料(2012年8月14日)より抜粋

(注3)償還予定日は2015年7月3日

## 普通株式の復配について

- ・2015年6月期は一定水準の当期利益を確保できる見込(P10参照)。
  - ・残存するA種種類株式の全額現金による償還を決定(P11参照)。
- ⇒ 普通株式について、復配の目処がついたものと判断し未定としていた1株当たり配当予想を10円に修正。  
(2015年9月下旬開催予定の定時株主総会に付議予定)

### 【配当予想】

	当初予想	今回修正予想
2015年6月期 1株当たり配当金	未定	10円

真空テクノロジーで /  
「つくる」をつくる、アルバック

**ULVAC**